



2020年の東京オリンピックの成功を目指して

日本ゴルフ協会会長 竹田恆正



霞ヶ関カントリー倶楽部

世界で戦える選手の育成 もっとゴルフ人口を増やそう

大中 霞ヶ関カントリー倶楽部のオリンピック会場決定に関してはいろいろご苦労がありましたが、まずは、お疲れ様でした。

竹田 有難うございます、少し時間がかかりました。

大中 霞が関は確かにカナダカップで中村寅吉氏と小野光一氏が優勝したコースで、マスターズ会場に匹敵するような歴史と伝統を備えていますね。

竹田 そうですね、歴史的な一幕でした。

大中 しかし、女性プレイの問題では今や世界の潮流ですから、ご足労されていい結論が得られ、結果的によかつたですね。

竹田 霞ヶ関カントリー倶楽部も五輪会場に決定してから15億円かけてコースを改修しているので、様々な言い分があるのは仕方ありません。辞退となれば、汚名だけが残つて名門の看板に傷がつきますからね。

大中 世界の名プレイヤー達も日本のゴルフ場の質の良さを知っています。

竹田 大学3年の頃です。大学のクラブに入っていたわけでもありませんが、軽井沢ゴルフ倶楽部で少しプレイしていたのが始まりです。

大中 それは意外ですね。三菱商事に入社後は。

竹田 当然ゴルフは続けましたよ。当時の総合商社と言えば、社員たるもの、ゴルフは義務、という感じでしたから(笑)。

大中 では入社してから本格的に始めたのですか。

竹田 いよいよ、1978年に東京ゴルフ倶楽部のメンバーになつてからです。西ドイツの駐在員を約5年、その後米国のビジネススクールへ留

竹田 昔は20年程2~5でした。今は東京クラブで18、程ヶ谷では15です。

大中 程ヶ谷の方が成績がいいんですね。

竹田 優しいコースですか(笑)。

大中 竹田さんは攻め方を知つてい

竹田 先日霞ヶ関にさらに素晴らしいコースが出来上がって、竣工式の1週間前にその女性問題が一件落着したわけです。

竹田 東京ゴルフ倶楽部が本コースで、他は程ヶ谷カントリークラブと軽井沢ゴルフ倶楽部ですから、専らクラブ内競技で鍛えた、ということでしょう。



て、飛ばせるので優しいのかも知れませんが、程ヶ谷の2番と11番のロングは必ず失敗する難しいコースですよ。

さて、ゴルフと出会つてよかつたことは。

竹田 年を重ねても運動を続けられるし、ゴルフを嗜んでいる人は皆元気ですよ。

大中 やはり歩いているからでしょう。東京クラブで最も多かったラウンド数は年間どれ位になりますか。

竹田 さすがに100回は超えているのでは

んね。

才能のある人材を早い段階から押さえる必要性

大中 ところで、最近の日本のゴルフ会についてですが、試合数より自身をレベルアップさせて、かつての青木功やジャンボ尾崎、中嶋常幸のようなスターがないと、男子トーナメントの充実はないと思います。

竹田 そうですね。日本のコースは割と優しいので、国内でプレイしているだけでは海外で全く通用しません。

大中 それとやはり、根本的にゴル

て殻に閉じこもつたような悪循環になっています。

大中 女子も昨年は確か35回のトーナメントが国内で開催されていましたが、その内10数回は外国選手が優勝です。まあ、それだけオープンにしているのですから、仕方ありませんが。

しかし、最近のアジア勢の急伸ぶりと言えば、本当に目を見張るほどです。最近は中国、ベトナム、タイも台頭しつつあります。

竹田 そのとおりですね。

大中 日本もアジアだけでなく世界に開放にすべきです。

もちろん、お金もかかりますが、日本のトーナメントが活性化されれば人気も出ます。

竹田 JGTO（日本ゴルフツアーモンディ）は、国内でなかなかスポンサーがつかず、アジアを舞台にいろいろとタイアップして頑張っているようです。

大中 竹田さんの眼から見て、海外と比較して、日本のゴルフの劣つている点は。

竹田 海外の強い選手とのプレイ数が少な過ぎる点です。

大中 そつとやはり、根本的にゴルフ人口を増やさなければいけないですね。

竹田 仰るとおりです。ゴルフ振興策はいろいろありますが、日本ゴルフ協会も目指して努力している一番の近道は、とにかく強い選手の育成です。

大中 ちょうど今、ゴルフ関連の各協会団体が一堂に会した「サミット・ミーティング」の一番の議題が、まさに業界全体で『強い選手を育成しよう』となっているんです。

大中 育成という点では、ゴルフは紳士のスポーツですから、マナーに対するする啓蒙活動も重要なだと思います。

日本でゴルフが始まって1世紀以上が経ち、2020年には東京五輪が開催されます。是非とも協会会长として、マナーの徹底を発信して頂きたいですね。

竹田 もちろんです。マナーはまさにゴルフの原点ですから。

大中 私もゴルフ愛好家の端くれとして、日本ゴルフ界のさらなる発展のため、精一杯応援します。

竹田 溫かい応援団がいて下さるの

ながら他のスポーツに流れてしまいます。

大中 最後に、日本ゴルフ協会の会長に就任されてもうすぐ2年ですが、協会並びにゴルフ界をどう改革していきたいですか。

竹田 ちょうど今、ゴルフ関連の各協会団体が一堂に会した「サミット・ミーティング」の一番の議題が、まさに業界全体で『強い選手を育成しよう』となっているんです。

大中 育成という点では、ゴルフは紳士のスポーツですから、マナーに対するする啓蒙活動も重要なだと思います。

日本でゴルフが始まって1世紀以上が経ち、2020年には東京五輪が開催されます。是非とも協会会长として、マナーの徹底を発信して頂きたいですね。

竹田 もちろんです。マナーはまさにゴルフの原点ですから。

大中 私もゴルフ愛好家の端くれとして、日本ゴルフ界のさらなる発展のため、精一杯応援します。

竹田 溫かい応援団がいて下さるの

で心強いです。

精一杯頑張ります。有難うござい